

<災害時の考え方について>

奈良市と自主防災・防犯協議会が進めてきた内容の要約

自助・共助・公助

防災の基本は自分の身は自分で護る

避難所の考え方

万が一、一次避難所では困難な場合は、二次避難所を開設する

<避難場所が制限されている理由>

避難場所の安全確保ができれば避難

地域の自主防災担当者が**避難所の安全を確認**。安全が確認されれば解放される。また、**避難困難者は社協・民生の担当が把握**しており、然るべき移動先（避難所または病院など）に移動する手筈が整っている。**勝手に指定外の場所に非難すると安否確認を初め、物資が届かないことになります。**



物資の確保

飲食を初め、生活物資などは各自で必要数を準備する

<基本は各自で準備する>

自治会や市で食料品など絶えず
人数分 × 日数は確保できない

行政の考え方は、長期保存ができるものでも絶えず人数分を保管しながら入れ替えることは色々な意味で不可能。そこで、**いざという時に必要な場所に必要な物資を届ける体制**を取ることで対応を考えています。



自治会でできることとインフラ

いざという時のために会合やイベントで仲良くなる

<防災マニュアルの作成>

自分の自治会に合った
防災計画をしっかり立てる

各自治会で防災計画を立て、いざという時に協力しあって乗り越えます。奈良市では**携帯など繋がらない状況になれば、防災無線網、移動式携帯基地局などのインフラ・ライフラインの構築**を最優先で行います。



自主防災・防犯協議会では、様々な見識に基づき計画を立てています
地域で常日頃から一人一人ができることを考え、計画的な活動を心がけましょう